〔９番　平山晶邦議員　登壇〕

○９番（平山晶邦議員）　平山晶邦です。通告に従い，一般質問を行います。

私は，９月定例議会の一般質問でも申し上げましたように，常陸太田市の将来を決する４つのプロジェクト，東部土地区画整理事業，市道０１３９号線整備事業，山吹運動公園新総合体育館整備事業，そして旧ＪＴ跡地整備事業であると思っております。

これらの事業を進めるに当たって，私たち市民に対して，執行部は全て少子人口減少に資する事業であると説明をしています。

本市は，少子化人口減少に対応して全国的にも県内市町村の中でも早く取り組み，１０年前から先進的な子育て支援事業を行っています。そして，子育てするんだったら常陸太田だよねは，県内においては一定の評価をいただいているのだと思いますが，現在でも本市の少子化，人口減少に歯止めがかかった状況にはなっておりません。

その間，当市が人口減少対策を始めた当初はソフト面において斬新的な人口減少対策でありましたが，ソフト面の事業は他の自治体もそれなりに進めることによって，本市の優位性が失われつつあります。

私は，前回の質問で，４つのプロジェクトの推進を行い，ハード面の強化を図り，地域力の強化を望み，ソフト・ハード両面から融合した人口減少対策を進めなければならないという考えを

述べました。

そして，東部土地区画整理事業，市道０１３９号線整備事業，山吹運動公園総合体育館整備事業の質問を行い，３事業が着実に前進していることを確認させていただきました。

これらの事業を進めるときに，重要なのはスピードだということも要望をいたしました。

前段，そのことを確認して，今回の４つのプロジェクトのうち，旧ＪＴ跡地について質問をいたします。

旧ＪＴ跡地については，平成２９年の２月に，ＪＴから「公有地の拡大の推進に関する法律」の規定に基づき，土地買取り希望申出書が提出され，１つとして平成２９年度中に同譲渡がなされること，２つ目として土地の管理及び近隣対応を市が行うことの条件で無償譲渡したい旨の申出があり，市は将来的に少子化，人口減少対策に資する土地活用が図れるものと判断してＪＴの土地を取得した経緯がございます。

私は，平成２９年６月の定例議会一般質問で，常陸太田市公共施設等管理計画を策定して，現在市が保有する施設や土地の維持，更新していくことが，今後，困難になっていく中で，新たな土地を所有し，市が管理する土地を増やし，行政インフラを整備していくわけですから，常陸太田市公共施設総合管理計画との整合性と市民に対するＪＴ跡地の利活用プランを示していくことの重要性を申し上げました。

そのときのご答弁は，少子化，人口減少対策の目標達成のために有効な土地活用を図っていくとのご答弁でありました。

そのときから６年の歳月がたちましたが，まだ私たち市民に対して有効な土地活用の内容が示されておりません。

その間，常陸大宮市のＪＴ跡地と比較しては恐縮ですが，常陸大宮市の跡地は整備が進み，分譲の予約も取っていると聞いております。

埋蔵文化財があることは平成２９年当時も理解していたわけでありますから，事業の遅れは問題があると断じざるを得ません。

そこで，旧ＪＴ跡地の進捗状況についてお伺いをいたします。

１点目は，現在までに旧ＪＴ跡地についてどのような事業検討がなされたのかについてお伺いをいたします。

２点目は,今後の跡地利用の構想はどのようにお考えになっているのかをお伺いをいたします。

以上で私の１回目の質問といたします。

○藤田謙二議長　答弁を求めます。企画部長。

〔岡部光洋企画部長　登壇〕

○岡部光洋企画部長　旧ＪＴ跡地の進捗状況についてのご質問にお答えいたします。

現在までの旧ＪＴ跡地の検討についてでございますが，旧ＪＴ跡地につきましては，平成２９年２月に日本たばこ産業株式会社から市に対し無償譲渡の申出があり，当時，本市ではＵＩＪターン促進，子育て住宅及び支援施設の整備，地域に応じた居住環境の整備の３つのコンセプトを掲げ，定住人口の拡大に向けて取り組むこととしていたことも踏まえ，少子化人口減少対策に資

する土地活用が図られるものと判断し，平成２９年９月に無償で譲渡を受けたものでございます。

これまでの検討経過でございますが，本市の定住人口の拡大を図るため，民間活力を活用した住宅用地としての活用に向けて，まず，平成３０年度に緊急車両の通行などのため，幅員４メーター未満と狭隘な部分がある外周市道の拡幅に係る測量設計事業費といたしまして約1，５００万円を実施いたしました。

また，翌年，令和元年度には，市道拡幅用地が太田城跡地の埋蔵文化財包蔵地であることから，埋蔵文化財発掘調査事業費といたしまして，約3，８００万円を実施しましたところ，その調査結果について市文化財保護審議委員等から意見が出されたことから，令和２年度に発掘調査事業費といたしましては約4，１００万円を実施し，本年６月に市民等に対しまして，その調査報告会を開催いたしました。

現在は，関係団体や開発事業者等から，専門的な知見も含め，旧ＪＴ跡地の利活用に係る意見聴取を行っているところでございます。

続きまして，今後の跡地利用についてでございますが，開発事業者等からも，旧ＪＴ跡地は幼稚園，小中学校及び高等学校に近い場所に位置しており，児童生徒の通学に係る利便性が高いとともに，高台に位置しているため，大雨等の災害にも配慮した住宅用地として魅力のある場所だとの認識が示されてございます。

このため，来年度におきましては，発掘調査の成果等にも配慮しつつ，無償譲渡を受けた際の目的である少子化人口減少対策に資する土地活用に向け，民間活力を活用した住宅用地としての設計開発に着手するなど，にぎわいのある魅力的なまちづくりを進めてまいりたいと考えております。

○藤田謙二議長　平山議員。

〔９番　平山晶邦議員　質問者席へ〕

○９番（平山晶邦議員）　ただいまは前向きなご答弁をいただき，ありがとうございました。来年度から民間活力を活用した住宅用地の開発をするということでありますから，ご期待を申し上げておりますが，前段でも申し上げましたように，人口減少対策は待ったなしの本市の重要施策であり，他の市町村との競争であります。

改めて執行部の皆さんに申し上げたいのは，そのキーワードは，何度も申し上げておりますように，スピードだというふうに思います。ですから，早急な対応をお願いを申し上げまして私の一般質問を終わります。